

<p><b>人材養成目的</b></p>	<p>経営および関連領域に関する知識の獲得と実践的な経験を通じて、企業などの組織に関するさまざまな活動に活用できる能力を身につけた社会的責任感のある学生を養成する</p>											
<p><b>ディプロマポリシー</b></p>	<p>1. 経営学の知識を応用できる実践的能力 【実践的能力の涵養】 企業などの組織が直面する問題を体験的かつ協働的に学び、学修した理論や知見をビジネスの場面で活かすための力を身につける</p>			<p>2. 経営学のコアとなる知識 【基幹理論の学修】 経営学および関連領域の基幹理論を学び、企業などの組織に関する現代的な問題を捉える検証力を身につける</p>			<p>3. 各専門分野における深い知識 【専門性の涵養】 企業などの組織の問題を解決するために必要な専門的知識や理論を学び、組織の発展や改善に活かすことができる力を身につける</p>					
<p><b>科目区分(大分類)</b></p>	<p>主体的研究科目群</p>			<p>学部共通科目群</p>			<p>専攻科目群</p>					
<p><b>科目区分(中分類)</b></p>	<p>必修・全履科目(演習)</p>	<p>選択科目</p>	<p>必修科目</p>	<p>学部共通科目</p>	<p>経営・マーケティング専攻科目</p> <p>経営学関連      マーケティング関連      会計学関連</p>			<p>法務専攻科目</p>	<p>ビジネス心理専攻科目</p>	<p>情報システム専攻科目</p>		
<p>4年次</p>	<p>MM11402 卒業演習2 MM11401 卒業演習1</p>									<p>MM36309 情報と職業 MM36308 マルチメディア MM36307 デジタルマネジメント MM36306 インターネットビジネス MM36305 機械学習 MM36304 アルゴリズムとデータ構造演習 MM36303 アルゴリズムとデータ構造 MM36302 オペレーションズ・リサーチ MM36301 オペレーションズ・リサーチ基礎</p>		
<p>3年次 または 3年次以上</p>	<p>MM11302 発展演習2 MM11301 発展演習1</p>				<p>MM31308 経営史 MM31307 ビックビジネス論 MM31306 CSR経営論 MM31305 多国語企業論 MM31304 ヘンチャー企業論 MM31303 中小企業論 MM31302 現代企業論 MM31301 経営行動論</p>	<p>MM32305 インターネットマーケティング MM32304 インターネットマーケティング基礎 MM32303 消費者行動論 MM32302 マーケティングリサーチ MM32301 サービスマーケティング論</p>	<p>MM33305 国際会計論 MM33304 監査論 MM33303 経営分析論 MM33302 コスト・マネジメント論 MM33301 財務諸表論</p>	<p>MM34308 労働関連法 MM34307 金融法 MM34306 税法各論 MM34305 税法総論 MM34304 国際法 MM34303 手形・小切手法 MM34302 会社法 MM34301 企業法務</p>	<p>MM35306 広告心理学 MM35305 感性・デザイン心理学 MM35304 組織心理学 MM35303 コミュニティ心理学 MM35302 心理統計学 MM35301 ビジネス心理実習</p>			
<p>2年次 または 2年次以上</p>	<p>MM11202 基礎演習2 MM11201 基礎演習1</p>	<p>MM13201 経営学プロジェクト  MM12204 国際表現演習 MM12203 国際特別演習 MM12202 国際事情 MM12201 国際コミュニケーション論</p>		<p>MM22208 哲学基礎 MM22207 法律学基礎 MM22206 経済学基礎 MM22205 経営情報論 MM22204 経営における心理学 MM22203 民法(総則) MM22202 初級会計学原理 MM22201 マーケティング論基礎</p>	<p>MM31211 経営倫理 MM31210 国際経営論 MM31209 財務管理論 MM31208 ファイナンス論 MM31207 オペレーションズマネジメント MM31206 生産管理論 MM31205 人事労務管理論 MM31204 人的資源管理論 MM31203 経営組織論 MM31202 経営戦略論 MM31201 経営管理論</p>	<p>MM32203 流通システム MM32202 流通システム基礎 MM32201 マーケティング論</p>	<p>MM33206 管理会計論 MM33205 原価計算論 MM33204 工業簿記 MM33203 中級会計学原理 MM33202 中級簿記 MM33201 初級簿記</p>	<p>MM34209 刑法 MM34208 行政法 MM34207 社会保険法 MM34206 知的財産法 MM34205 会社法基礎 MM34204 商法 MM34203 民法(債権法各論) MM34202 民法(債権法総論) MM34201 民法(物権法)</p>	<p>MM35205 ビジネスの社会心理学 MM35204 コミュニケーションの心理学 MM35203 心理統計学基礎 MM35202 心理データ解析 MM35201 心理データ解析基礎</p>	<p>MM36211 データベース MM36210 コンピュータネットワーク MM36209 経営情報システム MM36208 プログラミング演習 MM36207 プログラミング基礎 MM36206 情報科学 MM36205 情報科学基礎 MM36204 情報統計学 MM36203 情報統計学基礎 MM36202 情報数学 MM36201 情報数学基礎</p>		
<p>1年次 または 1年次以上</p>	<p>MM11102 入門演習2 MM11101 入門演習1</p>		<p>MM21102 経営学への招待II MM21101 経営学への招待I</p>				<p>MM33103 工業簿記演習 MM33102 商業簿記演習 MM33101 初級簿記演習</p>		<p>MM35102 社会調査法2 MM35101 社会調査法1</p>	<p>MM36103 プログラミング入門 MM36102 統計学基礎 MM36101 数学基礎</p>		
<p>卒業要件(※)</p>	<p>12単位(入門演習1・2は選択科目)</p>	<p>-</p>	<p>8単位</p>	<p>8単位以上</p>	<p>自専攻から18単位以上</p>							
<p><b>カリキュラムポリシー</b></p>	<p>主体的研究科目群では、少数による実践的な学習活動を主体的に行う。専門教育で得た知識や理論を具体的な問題に対して適用したり応用したりする活動を通して、経営学および関連学問領域の理解を体験的に深める。  ただし、入門演習は、こうした活動を行うための導入科目であり、プレゼンテーションやディスカッションの基礎スキルを具体的な課題を通して身につける。</p>			<p>学部共通科目群では、経営学および関連学問領域の基幹理論の修得を行う。特に、「経営学への招待I」と「経営学への招待II」は、経営学・マーケティング・会計学・法学・心理学・経営情報学に関する入門的な内容を扱う。</p>			<p>専攻科目群では、経営学および関連学問領域の主だった理論や、それらの修得に必要な知識や手法に関して学ぶ。必要に応じて主体的な学びを取り入れ、経営の現場に必要な知識を体験的に学ぶことも取り入れている。  科目名に「基礎」と付くものは学習順序が指定されており、基礎の履修が終わってから、もう一方の履修を進める必要がある。  初級簿記演習・商業簿記演習・工業簿記演習は、高等学校において全商簿記2級や全経簿記2級の知識を修得した学生がより早く日商簿記検定3級・2級の修得を目指せるよう、1年次配当とする。</p>			<p>企業のマネジメントやマーケティングの実施に必要な、情報を把握、整理し、鍵となる要因を見出す力を、時には実践的な学びも通じて身につけることができるようにする。そのために、各領域で以下のようなポリシーで科目を配置している。</p>	<p>公務員試験や宅建士などの資格試験の基礎となる知識を習得することを目的とし、民法(総則・物権・債権)などを学ぶ。  また、実社会で役立つことを目的として税法、会社法、企業法務などを学ぶ。</p>	<p>消費者行動の予測や商品開発などのビジネスの現場を学び、ネットワークやマルチメディア、データサイエンスやシステムズ、アプローチなどビジネスの問題解決に必要な方法論について理解を深めていく。</p>
<p><b>アドミッションポリシー</b></p>	<p>経営学部では、目的とする人材を養成するために、以下のような学生の入学を期待しています。</p> <p>(1) ビジネスおよびビジネスに関わる内容に関心がある (2) 自分の意見や体験を適切な表現で表明できる (3) 物事を論理的・数量的に考えることができる (4) これまでの活動成果を大学での学びに活かそうとする意欲がある</p>											

(※) 卒業要件単位数：124単位(共通教育科目：28単位以上、学科科目：78単位以上、残り18単位は自由選択)